

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 前期 ・ 必修	
	対象学科・専攻	情報工学科	
情報応用演習 (Exercises in Information Applications)	担当教員	情報工学科各教員	
	教員室		
	E-Mail		
教育形態/単位の種別/単位数	実験・実習 / 学修単位 [講義 II] / 3 単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (150 分) + 自学自習 (300 分)] × 18 回		
[本科目の目標] 情報工学関連のさまざまな分野における, より専門化された実験・実務を体験し, 検討することによって実践的な能力の向上を図る.			
[本科目の位置付け] 実験のテーマにより重点的に必要となる科目は異なるが, 1 年次から 5 年次までの全授業科目が関連する.			
[学習上の留意点]			
(1) グループ単位の実験であることを生かし, 各自が実務能力の向上に努めること.			
(2) 各テーマとも指導書の予習を行い, 内容を理解した上で実験に臨むこと.			
(3) 報告書は自らの理解に基づき執筆し, 期限内に提出すること.			
(4) 1 テーマを 2 週間 (8 時間) で行い, 巡回方式で指定された実験を 7 テーマ行う.			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
オリエンテーションと グループ編成	4	オリエンテーションとグループ編成	次の演習実施日 1 週間前までに演習担当の教員から資料を受け取り, 演習実施日までに資料をしっかりと読んでおくこと.
・画像処理プログラミング (担当: 加治佐)	8	<input type="checkbox"/> Visual C# を用いて画像処理入門のプログラミングができる.	
・聴覚実験 (マスキング) (担当: 幸田)	8	<input type="checkbox"/> MD などを利用されているマスキング効果について理解できる.	
・UNIX 応用プログラミング (担当: 堂込)	8	<input type="checkbox"/> UNIX の主要ツールの使い方および C 言語によるシステムコールの使い方を理解できる.	
・論理プログラミング (担当: 新徳)	8	<input type="checkbox"/> 宣言的言語と手続き型言語との違いを理解し, 基本的な論理プログラムを説明できる.	
・組み込みシステム (担当: 豊平)	8	<input type="checkbox"/> 組み込みシステムで利用される μITORN の開発環境やプログラミングが理解できる. <input type="checkbox"/> μITORN でのタスク管理やタスク間通信を理解し, 応用できる.	
・ネットワークシステム (1) (担当: 玉利)	8	<input type="checkbox"/> DNS の設定を行なうことにより, ネームサーバの設定ファイルの役割や DNS の仕組みを理解できる.	
・ネットワークシステム (2) (担当: 入江)	8	<input type="checkbox"/> DHCP の仕組みを理解し, トラブルシューティングに応用できる.	
・ネットワークシステム (3) (担当: 濱川)	8	<input type="checkbox"/> メールのプロトコルを理解できる.	
・ネットワーク応用 (担当: 武田)	8	<input type="checkbox"/> インターネットにおける通信や, 分散並列処理を理解する	
[教科書] 各指導教員の指示する教材			
[参考書・補助教材] 同上			
[成績評価の基準] レポート成績(100%)－実験態度(最大 20%), 但し, レポートの未提出が 1 件でもある場合は 60 点未満の評価点とする. 提出遅れは減点の対象となる.			
[本科 (準学士課程) の学習・教育目標との関連] 1-b, 3-c, 4-a			
[教育プログラムの学習・教育目標との関連] 3-3			
[JABEE との関連] (d)(2)b			